

が、これは、右の人差指と左の人差指を十字に交叉して、キリストを表わし、一九六〇と上から下へ順に数を表わして行けばよい。キリストの手まねは省いてよし。

齢 五指の指頭を前方にさし掌を左側にした右手を顎の下につけ、「いくつ」(数)の手まね。即ち親指から順次に折り曲げて行く。美味しい(顎)雑煮を食べた数。「十五歳」と表わす場合。齢——十五とする。

齢寄り 「齢」を表わしてから、その顎の下で掌を下に向け五指彎曲した右手、その下に掌を上に向け五指を彎曲した左手を相向わせて、右手を上へ左手を下へ離して行く。数鼠(齢)のポリュームを表わしたこと。

どちら 「較らべる」と同じ手まね。

土地 土——所。

突然 「急に」と同じ手まね。

とても 「むづかしい」と同じ手まね。そ

れに小首を振るがよい。

整ろ 「整理」と同じ手まね。

とに角 「それはそれとして」と一般に誰れもする身振り。即ち五指の指頭を上にしし掌を前に向けた両手を前右寄り斜めに下へ押しつけるように出す。

賭博 (イ) 両手でカルタを繰る身振。(ロ)

両手を上下に合わせてまるくふくらませて手の中にある賽ころを振る身振。

薦 茶—鳥(この場合両手で羽ばたきせず)に静止して身体を左右に向ける、薦の空中滑走。

止まる 指頭を下にさした人差指と中指で「歩く」の手まねをして、二指を揃えて停止させる。

止める (イ) 五指の指頭を左にさし掌を内側にした右手を右から左へ移行させて行くのを、五指の指頭を前方にさし掌を右側にした

左手を上から落して右手の運動を遮断する。

(例) やめ—命令。

友 左右両手で握手の形に絶び男性

供する 掌を前に向けた右手の指頭を上女性

にした親指のその後稍々下にこれも掌を前に

向けた左手の指頭を上にした親指を従わせ

て両手を前へ進ませる。

伴トに行く 掌を前に向け指頭を上にした

右手の人差指と中指を右肩廻りから前へ進ま

せる。二人連れだてて行くこと。

土曜日 土 胸の前で、両手の五指を下に

向け、手の中の土を少しづつ、撒き落すよう

に、親指の指頭と他の四指とでこすり合わせ

る。「土」「砂」の手まね。

当惑 困る—感う。

虎 右手の人差指と親指の間を広く開いて

その指頭で胸の上に左から右へ平行線を描い

て(虎の縞)—獸。

鳥居 指頭前方にさした人差指と中指の両
手を前で背中合せにびったりと並らべあ合せ
てから左右に離して行って次に両手をそのま
ま下へ降して行く。鳥居の輪郭を描いたも
の。

鳥 人差指の指先から少し下に親指の指頭

をつけ鳥の嘴の形を造って口許につけてか

ら、左右両腕の肘を夫々胸脇にびったりつ

け、手を上下に動かして羽ばたきの身振り。

取替える (例) 「変える」の手まね。(例)

掌を下に向けて五指の指頭を集め合わせた両

手、右手を左へ左手を右へ交叉する。右の物

を左へ左の物を右へと取替えること。

取りきめ 相談—決める。

取引 相談—商い。

度量 (例) 「度量が大きい」は「寛大」と

同じ手まね。

(例) 「度量が小さい」は「小心」と同じ手